

令和6年度  
新潟大学工学部 総合型選抜 入学試験問題

小論文  
(社会基盤工学プログラム)

注意事項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題は、全部で1ページである。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は申し出ること。  
問題冊子の中に下書き用紙が1枚入っている。また、別に解答用紙が1枚ある。
- 3 志望する主専攻プログラム名を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 4 受験番号を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 5 解答時間は、60分である。
- 6 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。

近年、情報・DX\*技術の導入・活用に向けた取組が、建設業を始め製造業・サービス業など様々な業界で進みつつあります。

この様な状況の中で、社会基盤工学分野に関わる社会インフラの建設や維持管理、防災などの場面で情報・DX技術の活用が有効と考えられる例(既に活用されている実例か否かは問わない)を挙げて、期待される効果などについてのあなたの考えを述べて下さい。(600字以内)

※ DX (Digital Transformation) : デジタルデータの活用により社会に変革をもたらすこと。

令和6年度総合型選抜 小論文

工学部工学科社会基盤工学プログラム

【出題意図】

社会基盤工学では、その専門分野に関わる深い知識や技術だけでなく、情報工学や生態学、経済学など、他分野の知識や技術を総合的に活用することが求められる。将来、社会基盤工学分野で活躍する技術者・研究者を目指す者として、専門分野のみならず多面的・俯瞰的に物事を捉えて学習する意欲と姿勢をもち、且つ論理的思考力および文章表現力を具えているか、を問う問題を作成した。